

滞在報告
水圏環境解析化学領域
高野 祥太郎

化学研究所若手研究者国際短期派遣事業により、10月1日から12月28日まで、台湾中央研究院の Tung-Yuan Ho 准教授の研究室に滞在し、研究を行いました。台湾中央研究院は、首都、台北にあるのですが、中心部からは少し距離があり、静かな町並みの中にあります。台湾中央研究院の周りには、安くておいしい飲食店がたくさんあり、昼食をとるのが毎日楽しみでした。しかし、言語の問題から、思い通りに注文できないこともしばしばありました。

研究室には、様々な国の研究員が在籍し、ミーティングなどは全て英語で行われていました。学生であっても流暢な英語で、積極的に議論している姿などをみて、見習わないといけないと感じました。また、研究室の方々は、非常におおらかで、中国語やおすすめの観光地などを進んで教えてくれました。

台湾中央研究院は、政府直轄の研究機関であるからなのか、研究設備も非常に充実していました。クリーンルームは、非常に広く、研究に用いる質量分析計も最新のものが揃っていました。当滞在研究では、この設備を存分に活用することで、効率的に実験を行うことができました。最後に、このような機会を与えてくださった、関係者の皆様に感謝いたします。



梅花湖にて